



ふと振り返ってみて

副会長 宮崎 豊彦



今年2018年は、明治元年（1868年）から数えて150年となります。平成は来年の4月で終わり、5月からは新しい年号となります。新しい年号は何になるのか楽しみであり、平成が終わる寂しさもあります。

明治・大正・昭和・平成と続いた時代の中で、日本は現在少子高齢化が世界で最も早いペースで進んでいます。少子高齢化の影響で大学進学者数の加速的減少により大学が潰れるかもしれないという2018年問題が話題となっています。保育園においても待機児童問題が大きく取り上げられますが、保育施設等の整備が進み、4年ぶりに減少に転じました。全国で待機児童が2万人を下回るのは2008年以来、10年ぶりのことです。今後、東京都の多摩地区及び区部でも地域によって定員割れが始まっていく傾向にあります。しかし、来年10月には3・4・5歳児を対象に幼児教育・保育の無償化が予定されています。無償化に伴い保育園への入所申込者数が想定以上に伸び、待機児童の解消が遅れることも懸念されます。また、無償化が子どもたちにとって良いことなのか？私たち保育園にとって良いことなのか？幼稚園にとって良いことなのか？いろいろなことが今後更に議論され決まっていくと思いますが、育児放棄に繋がるのではないかと心配もされます。

社会福祉全般を考えると、特別養護老人ホームの入所待機者は2016年4月時点で12万人以上であり、共働きや核家族化等、在宅介護を担う家族が不在である世帯の増加も見込まれるなか、介護施設では保育士不足と同様に介護スタッフ不足が起きています。これからは在宅介護が必然となり、現在の社会を担っている人が、介護のために離職する介護離職の増大が懸念されます。この現象は、保育園で働く職員にもあてはまることであり、更なる保育士不足・人材不足へと繋がっていくのかもしれない。

国では人材不足解消のために、保育士等の給料に対する処遇改善が行われていますが、併せてキャリアアップ研修の受講が今年度から本格的に実施されてきました。キャリアアップ研修については、分野別の科目の認定であり、各地区の園長会等任意団体の主催で行うことができます。各地域の保育士等の方々の研修として遠い場所ではなく、地元で開催していくことを検討することも大切だと思います。八王子市では園長会から八王子私立保育園協会となり、さらにより広く活動していくために昨年11月には一般社団法人化したしました。一般社団法人八王子市私立保育園協会によるキャリアアップ研修を8月・9月と実施し、今年度中に5回以上実施する予定であります。

今年も残すところ3か月となりましたが、異常気象による大雪、豪雨、猛暑等想定外な自然現象が矢継ぎ早に訪れました。9月には北海道に大規模な地震が起こり、大きな災害となりました。そして、日本に限らず世界的規模で災害が起こっています。以前から問題とされていた地球温暖化による影響というものを改めて実感させられ、よく言われている自然からの人間社会に対しての警告なのかもしれないと感じます。人間に都合の良い便利な環境を追求していく為に速いスピードで進んでいった結果なのかもしれません。昭和46年頃にガソリン会社のCMにあった「♪気楽に行こうよ俺たちは 焦って見たって同じこと のんびり行こうよ俺たちは なんとかなるぜ世の中は♪」という歌をふと思い出します。時代の速さに遅れないようにしなくてはいけない時代だからこそ、時にはゆとりをもって、ゆっくりといろいろなことを考えてみるのが大切なのかもしれません。